

# 2018年度 神戸女学院大学 女性学インスティテュート主催 女性学研究会

日時：2019年3月1日(金) 11:00～13:00

場所：神戸女学院大学 文学館 L-7

## 「手芸」をめぐるジェンダーの問題系

日本における「手芸」とは、ジェンダー秩序と深く関わるものであった。それは、「手芸」という語の成立や普及のプロセス、手芸品の制作行為、「女性」であるというアイデンティティ、さらに「美術」との差異化など重層的かつ複合的な問題であった。本報告では、「手芸」概念の形成から、後に派生する特徴的な問題を抽出し、手芸品およびその制作行為をめぐるジェンダーの問題系を整理し、女性の手仕事の意味を考察する。



講師 やまさき あきこ  
山崎 明子 准教授

経歴：2003年千葉大学大学院社会文化科学研究科修了。博士(文学)。2007年～日本学術振興会特別研究員(RPD・お茶の水女子大学ジェンダー研究センター)。2009年～奈良女子大学生生活環境学部。  
専門は近現代美術史、手工芸論、ジェンダー論。特に女性の創造活動に関心を持ち、「美術」の枠組みから除外されてきた手芸を研究対象とし、「美術」のジェンダー構造の問題化に取り組む。

## 文学とジェンダー～「書く女」

文章を書くこと、そして文筆家になることは、常にジェンダー化されてきました。作家という職業は男性性と結びつけられ、女性が作家になろうものなら「女流」という断り書きが添えられていました。一方で、空想に身を委ねること、そして文学的志向は、しばしば女性性と結びつけられます。文学とジェンダー、そして文学的創造の主体としての「書く女」について、アメリカ文学の作品をいくつか参照しながら考えてみたいと思います。



講師 みすぎ けいこ  
三杉 圭子 教授

経歴：神戸女学院大学文学部英文学科卒業。同志社大学博士課程修了。博士(英文学)。名古屋学院大学外国語学部専任講師を経て1996年より神戸女学院大学文学部専任講師、2004年より准教授、2006年より教授。  
専門は、アメリカ文学、20世紀小説。神戸女学院大学女性学Inst.所員。